

4in1ビジネスコミュニケーション ケース学習ワークショップ

現場での悩みをワークショップで解決。社員の悩みは管理者にフィードバック

講師 金 孝卿 早稲田大学日本語教育研究センター 准教授

専門は日本語教育、協働学習、ピア内省活動。博士（人文科学、お茶の水女子大学）。韓国出身。1997年来日し大学院で第二言語としての日本語教育を学ぶ。国際交流基金で海外の日本語教育支援および教師研修を担当、2012年から2年間、国際交流基金シドニー日本文化センターで日本語教育アドバイザーを務め、14年より日本の大学で留学生のためのキャリア教育やビジネス・コミュニケーション教育に携わる。16年からは日本で働く外国人材のための研修やワークショップを開発。

講師から 国境を越えて働く者として、日本の社会や文化を理解し、自分が置かれた環境を建設的に捉え、それを良い関係を築いていくためのパワーに変えていきたいと思っています。

**本研修の狙い**

本研修は1カ月1回の計4回で修了（4in1）します。参加者は集合研修（Off The Job Training）終了後、集合研修で見つけた課題克服方法を職場で実践しながら、ビジネスコミュニケーションを積み上げて定着させることができます。

- ①1カ月1回実施でスキルを定着
1カ月1回の計4回（4in1）実施によってビジネスコミュニケーションスキルを積み上げて定着させることができます。
- ②Off-JTとOJTで問題解決
集合研修（Off The Job Training）終了後の1カ月は集合研修で見つけた課題克服方法を職場で実践してみます。
- ③管理者にレポート提出
外国籍社員が職場でどんな悩みを抱えているのか上司や同僚との関係は円滑なのかなど、管理者に報告します。

| | | | |
|---------------|---|---------------|-----------------|
| コース名 | ケース学習ワークショップ | | |
| 受講費用 | 170,000円/名（税別） | 研修期間 | 1回（3時間）×4回（4カ月） |
| 開催日程 | 2019年9月～ | 最少催行人数 | 8名 |
| 参加条件 | 日本語能力試験 N2レベル以上（条件に満たない場合にはご相談ください） | | |
| 会場 | 日経HR 6階セミナールーム（東京都千代田区神田鍛冶町3-6-3 神田三菱ビル） | | |
| 内容 | 第1回目 仕事は楽しいですか？ 研修1日目は参加者同士のアイスブレイクに時間を多く取り、研修の場がお互いの抱えている悩みや疑問を解決する機会であることを理解してもらう。次回までに現場で感じた疑問、悩み、トラブルについてレポートを提出を課題にします。 | | |
| | <p>【ワーク】私は夕方5時に上司の田中さんに呼ばれ、明日までに発注データの処理をしておくように言われました。私は「はい、わかりました」と返事をし、その日は6時に退社しました。翌朝いつも通り仕事を始めると田中さんが私の近くに来てウロウロしています。そして、私のパソコンの画面を覗き込んで、「データ入力できた？」と聞くのです。私はもちろん「まだです」と答えると、田中さんは「途中でもいいから見せてください」と言いました。入力が終わっているわけでもないのに、なぜ見せる必要があるのか、なぜ私のパソコンの画面を覗き込むのか、おかしいと思いました。私は田中さんを信じられなくなりました。でも上司です。どうしたらいいのでしょうか？</p> <p>【出典：『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う』【教材編】近藤彩・金孝卿・ムグダ ヤルディー・福永由佳・池田玲子 著（2013）ココ出版】</p> | | |
| | 第2回目 こんなことがありました 研修2日目は提出してもらったレポートの中からワークのテーマになるものを選び、その疑問・トラブルの原因、対処法などを参加者全員で考えます。ワークで出た対処法をまとめ、次回の研修までに職場で実践し、その結果をレポートとして提出してもらいます。 | | |
| | 第3回目 うまくいきました 研修3日目は対処法を実践し、なぜうまくいったと思うのか、なぜ失敗したのかという結果を参加者全員で共有します。次回の研修までにリフレクションレポートを提出してもらいます。 | | |
| | 第4回目 自己解決に向けて 最終日はこれまでに経験した疑問や悩み、トラブルに対してどう向き合い、解決して来たのかを振り返り、今後どう対処するのかを参加者全員で確認します。 【報告レポート】参加者が抱えていた悩み・疑問、そしてどう解決できたのかを管理者に報告します。 | | |
| お問い合わせ | 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-3 神田三菱ビル 日経HR コンテンツ事業部 研修事業担当（藤野 渡辺 宮下） tel.03-6812-7304 E-mail kenshu@nikkeihr.co.jp | | |